

京都の福祉

530

2013.6 June



●増田新会長就任挨拶

“安心と希望の持てる支え合いの京都”
の実現をめざして

●保育人材マッチング支援事業

●東日本大震災避難者支援プラットフォームの取り組み

●夢中! 熱中! ふくしびと

洛南寮 厚東美沙さん

●京都式キャリアアップ研修

「京都式」キャリアアップ研修の構築で
福祉人材の確保・育成・定着を

厚東さんの仕事中的様子

もえくさ

ある集いで千葉望さんの話を聴く機会があった。千葉さんは岩手県出身のノンフィクション作家で、実家は陸前高田市の真宗大谷派正徳寺。お寺は東日本大震災で避難所となり5カ月間、ピーク時には1500人の被災者を受け入れた。▼御本人は東京在住で、住職を務める弟(市役所で高齢者福祉を担当する公務員としても被災者支援業務に従事)とその家族が支えた被災者支援活動を、東京から通いながらバックアップした。▼被災当夜、沿岸部の避難所では雪が降る寒さの中で、闇に包まれた瓦礫の中から聞こえてくる助けを求める声に、自らは生き延びたが何もできない悔しさ・悲しさに被災者が耐えていた話、前年に息子を亡くした人が、孫に避難するよう声をかけたが別々になって孫が津波の犠牲になり、いま酒浸りの生活に陥っている話など、重い現実が語られた。▼そして、私たちがへのメッセージは、残された人たちが立ち直るには一人ひとりの時間格差がある…、被災者の心がほどけ出すまでには時間がかかる…と淡々と述べられた。▼2万人超の死者・行方不明者等の膨大な遺族、一人ひとりの哀しみの深さ、復興への長い道のりを思い、追悼と鎮魂の想いを新たにしたい。▼ツイッターで暴言を吐いた復興庁幹部職員は、被災者の生の声に正面から向き合ってほしい。(NT)

「安心と希望の持てる支え合いの京都」の実現をめざして



京都府社会福祉協議会会長
増田 正蔵
●ますだ しょうぞう
(株)京都新聞社 相談役

このたび、京都府社会福祉協議会会長に就任いたしました増田正蔵でございます。就任にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

近年、社会経済環境の変化に伴って、地域においても社会的孤立の状態にある人々を巡る課題が深刻化しています。こうした状況の中、国では「社会保障と税の一体改革」や地方分権改革の進展、高齢・障害・児童等の社会福祉各分野の制度改革等が進められておりますが、社会福祉協議会では、地域における深刻な生活課題に対応するための方針を策定し、全国的な取り

組みを進めています。京都府内におきましても、これまでの取り組みや蓄積を踏まえ、高齢者等の見守り活動を始めとする孤立防止に向けた取り組みや生活困窮者支援に積極的に取り組もうとしています。

こうした時に、会長という大役を仰せつかったことに対して、責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。先日、私は東日本大震災の被災地を訪問してまいりました。その私たちにに対し、「近畿地方で地震が起こった際には、自分たちがボランティアとして駆けつけます。そのための備えを十分

にしてくださいね。」「京都は私たち日本人すべての心の拠りどころ、いつまでも美しくきれいな町であるよう、大切に守ってくださいね。」と、逆にエールを送られました。被災地の方々は、自分たちの経験を活かして、支える側にもならなければならぬと考えておられ、そのことが自分たち自身を支えることにつながっているということを実感いたしました。そして同時に、被災地を支えるということは、必ずしも物資や義援金だけではなく、お互いに「支え合う」ことが大切だという思いを改めて強くいたしました。

京都府社会福祉協議会は「すべての人が尊厳のある生活を送ることができるよう、安心と希望の持てる支え合いの京都」の実現を目指すことを基本理念に、「孤立を見逃さない地域づくり」「生活困窮者等の自己実現と自立支援」など、五つのアクションプランに基づく事業を展開しております。

私といたしましても、これまでの業績を継承し、微力ながら皆様方と連携・協働して、京都府の地域福祉の向上に最善を尽くしてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



保育人材マッチング支援事業の取組内容

平成25年度は、下記6点を重点的に取り組み、保育人材の確保、養成、定着を図っていきます。

- ①保育所への人材確保・定着に係る課題把握を行います
保育所等へ訪問ヒアリングを行い、施設長や管理職等の生の声を聴きながら、保育の人材・育成・確保に活かせる施策・事業を企画する際のデータを整理します。その結果を保育人材の確保に役立てます。
- ②保育人材マッチング支援専門委員会を設置します
京都府内の有識者及び関係者に集まっていただき、保育現場の実態把握、事業内容の検討、体制整備推進等に係る助言、指導等を協議していただき、より実態に即した事業を展開してまいります。
- ③求人・求職登録の推進を図ります
保育士の求人・求職登録を促進し、人材バンクとしての機能を発揮してまいります。来春卒業予定の学生はもちろん、保育士の資格を持たれていて、現在保育職に就かれていない方の再就職も支援してまいります。
- ④具体的なマッチングを行います
豊富な情報量で、求人者・求職者の想いや願いに沿った「利用者本位」の視点でマッチングを行います。
- ⑤就職セミナー、見学会等を企画・実施します
保育現場の求人情報や研修案内、事業所見学等、保育業界に携わっていくためのフォローを行ってまいります。
- ⑥再教育研修の実施機関と協働・連携します
京都府保育協会が実施する潜在保育士（現在は離職している保育士資格取得者）に対する職場復帰の支援研修等と連携します。

保育分野の求人・求職を強化します

近年、福祉人材の確保は国の重点事業の1つとなっております。特に待機児童数が2万人を超える中、保育士の確保は急務の課題ですが、求人と求職のミスマッチが生じており、確保が難しい状況が続いています。

平成25年4月1日、京都府社会福祉協議会福祉人材・研

修センターでは、京都府より事業委託を受け、保育人材の確保を重点目標に掲げ、保育人材マッチング支援事業を始めました。

これまで取り組んできた無料職業紹介事業の経験を生かし、保育分野の求人・求職を強化し、保育所への就業相談、定着支援を行うとともに、職業紹介に結びつけるための保育人材の求人開拓を行います。また、保育所等の事業所に

対しては保育人材の安定的確保・定着を図ることを目的とした支援を行ってまいります。

京都府福祉人材研修センターは福祉現場の未来をつなぐ存在であり続けます

私たちは、一人でも多くの方が福祉の仕事に対してやりがいと使命感を感じて魅力ある仕事に就き、目標や希望を叶えられるようサポートを全力で行ってまいります。求職者

と求人者の橋渡し（マッチング）ができる存在であり続けるため、今後も努力を続けていきます。「福祉・保育の求人・求職についての相談」は、京都府福祉人材・研修センターまでご連絡ください。

連絡先
社会福祉法人
京都府社会福祉協議会
京都府福祉人材・研修センター
保育人材マッチング支援チーム
☎075(252)6333

小さな子どもの大きな夢を育む、笑顔と感動の保育職場をサポートします！

行政と民間団体がオール京都で支える避難者支援

東日本大震災避難者相談交流会・ココロとカラダのリラックスサロン

日々の生活に目を向けた支援

東日本大震災の発生から2年以上が経過しました。被災地では今もなお仮設住宅での生活を余儀なくされている方が大勢いらっしゃいます。また、震災の関係で現在も990人(平成25年5月9日現在)の方々が京都に避難されています。

京都府では震災の発生以降、行政のみならず多くの民間団体が避難者支援の活動を精力的に行っています。また、避難者自身による支援団体も発

足しています。こうした中、京都府では「官」と「民」の立場を超えて避難者支援に携わる様々な団体が集い、ワンテールプラットフォーム会議」という場が持たれており、京都府社会福祉協議会も昨年よりこの会議に参加しています。

この「避難者支援プラットフォーム」では、参画する団体がそれぞれの得手を活かしながら協働し、課題の1つ1つにアプローチしています。避難者に関する課題は多々ある中で「日々の生活に目を向けた支援」を主眼におき、避難者

のニーズを確かめながら活動を行っています。

ココロとカラダのリラックス

この3月、プラットフォームに参画しているNPO法人ハイビスカス福興サロン和Nagomiと避難者支援プラットフォームの主催により、避難者の方を対象とした交流会が京都テルサにて行われました。「ココロとカラダのリラックスサロン」と名付けられたこの交流会は、「長引く避難生活で疲れている心身をひと時だけでもリラックスして

癒されてもらいたい」という想いを込めて行ったものです。

当日は親子連れの方々を中心に63名が来場され、子どもが万華鏡作りやバルーンアートで遊んでいる間に、親同士で談笑したりハンドマッサージを受けたりとつかの間のリラックスタイムを味わう、という風景が見られました。また、山田府知事も来場され、避難者の方々にねぎらいと激励の言葉を送られました。会場では、リラックススペースだけでなく各種相談コーナーも設けられ、府社協も生活福祉資金等の相談コーナーを担当

しました。

状況に寄り添った支援活動が必要

避難者の方々のニーズは避難生活が長引くにつれて、抱える悩みに多様化が進んでいます。一人一人の置かれている状況に寄り添った支援や日々の生活を営んでいる地域に根ざした支援活動が、今後益々必要となっています。

府社協としては、今後ともこのプラットフォームに参画し、社会福祉協議会の立場でできる避難者支援についてともに考えていきたいと思っています。

夢中! 熱中!

だから続けたい この仕事 ふくしびと

福祉の現場で働く人たちの熱い想い・メッセージを伝えるコーナーです。京都府内で「熱い福祉」を「夢中」で実践している方々にスポットをあてて、元氣や楽しさ、やりがいや「生」の声をお届けします。

私は短大を卒業後、児童養護施設で年間勤務しました。働く中で障害のある子どもと生活をしたり、貧困や精神的な問題を抱える保護者の方と接していくうちに自分の知らなかった福祉の分野に興味を持ち、児童養護施設以外の施設でも働いてみたいと思うようになり、現在の職場へ転職をし、5年の月日が

過ぎようとしています。

救護施設は、生活保護法に基づく施設で身体や精神に障害があり、経済的な面も含めて日常生活を送るのが困難な方が生活する施設であり、京都府内では唯一洛南寮だけとなっています。利用者の障害種別は身体・知的・精神と多岐にわたっており、アルコール依存症や若年性認知症の方もおられます。様々な障害をお持ちの方たちが生活しておられますので、職員にはそれぞれの障害を理解しその人に合った対応が求められます。また、利用者の高齢化に伴い介護の必要な方も増えてきており介護の技術や病気の知識も必要になっていきます。

洛南寮では年齢層も幅広く40歳代から90歳代の方々が生活しておられますので、

一人ひとりに合った総合的な福祉力を

地域での生活を目標とした調理実習や自立訓練の取り組み、リハビリ体操・合唱・クラブ活動など、一人ひとりに合った様々な楽しみや目標を見つけて生活していただけるよう支援することも大切な仕事です。

障害の程度に応じた支援や介護など総合的な福祉力が必要な現場で支援の難しさや自分の無力さを感じながら勉強していく日々ですが、言葉で上手く表現できない方の笑顔を見せてもらえたり、相談に来られた方に安心したと言ってもらえたり、毎日同じ場所が変わらない挨拶などの小さなコミュニケーションの積み重ねがやりに繋がっているのだと実感しています。利用者のみなさんが健康で安心を軸に生きがいを持てるような援助をめざしてこれからも取り組んで行きたいです。

健康と安心を軸に生きがいを持てる援助をめざしています

厚東 美沙さん

●こうとうみさ
施設名: 京都府社会福祉事業団 救護施設・洛南寮
事業所住所: 〒610-0343 京田辺市大住仲ノ谷14-1
TEL.0774-62-0415 (代表) FAX.0774-62-6900
職種: 生活支援員
経歴年数: 福祉職通算15年目(現在の職場は5年目)
▶好きな言葉: 感謝
▶夢中になっている事: 京都の文化と歴史なこと

(平成25年4月1日付 東山母子生活支援施設に異動)



(写真提供: 避難者支援プラットフォーム)

「京都市」キャリアアップ研修の構築で 福祉人材の確保・育成・定着を

はじめに

京都府社会福祉協議会は、すべての人が尊厳のある生活を送ることができるよう「安心と希望の持てる支え合いの京都」の実現を目指しています。このため、本会では福祉職場で働く人材の確保・定着に努めるとともに、研修事業を通じて人材の育成を図ることで、利用者に対して安心で安全・快適な福祉サービスの提供体制を整えていくことを支援しています。

今号では、研修事業の中核である「京都市」キャリアアップ

研修について紹介します。

キャリアアップ研修が求められる背景

急速に進展する福祉ニーズの拡大や多様化に伴い、京都府福祉人材・研修センター（以下、研修センター）の有効求人倍率も前年と比べ約2倍の水準まで上昇し、その担い手である福祉サービス従事者の確保は、喫緊の課題です。また、中核人材である学生が職場を選択する際、「職場内での教育・研修体制」が重要な判断材料の一つになっているなど、福祉サービス従事者の確保・

育成・定着は、相互に関連し合うため、一体的に取り組まれることが重要です。

特に、福祉サービスは利用者の生活そのものを支えるサービスであり、常に専門性の向上が求められています。そのためには多くの人材が福祉サービスに従事し、キャリアアップを図ることができるような仕組みを構築するとともに、一人ひとりのキャリアパスに対応した研修体系を構築することが求められています。（キャリアパス（career path）＝職業経歴上の道筋）

研修センターでは、全国社会福祉協議会（以下、全社協）

人生とキャリアパス（職業経歴上の道筋）の歩み

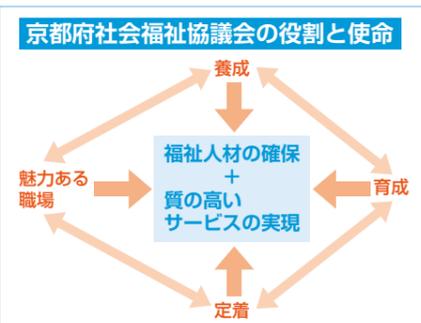
「過去・現在・未来」の時間軸でとらえる



において整備された「キャリアパス対応生涯研修課程」に基づき、京都市内の福祉サービスの一層の向上を目指し、キャリアアップ研修を実施します。

キーワード 「専門性」と「組織性」

「福祉サービス」と聞いてどのようなことを思い浮かべるでしょうか。それは、単なる介護技術や制度を指すもので



はありません。福祉サービスとは、生活するために様々なサービスを利用されている方々のくらしを保障することです。また、その職に従事する者には、制度の枠組みに利用者の生活を合わせるのではなく、利用者の生活に合わせた制度を運用・構築することが求められます。福祉サービス従事者としての「専門性」とは、利用者のために、あらゆる社会資源を活用できる幅広い知識と、地域や他職種と協働できる機動力であると考えます。

一方、福祉サービスの仕事は、個人では成しえませんが、集団として機能する必要があるため、それが、福祉・介護サービス従事者の「組織性」です。ひとりひとりが高い組織性を持ち、組織の中の役割やチームワークを考えることで、職場全体の組織力が向上し、ひいては利用者の生活が豊かになることにつながっていくと確信します。

研修センターでは、これら職員の「専門性」と職場の「組織性」の両面を軸に、各種別組織、職能団体などの関係団体と連携・協働をしながら各段階に応じた研修プログラムを組み立てています。

結びに

「京都市」キャリアアップ研修はプログラム構成に大きな特徴があります。全社協の「キャリアパス対応生涯研修課程」は、事前学習と2日間のプログラムで構成されています。一方研修センターは、事前学習・集合研修（2日間）・職場実践・集合研修（1日間）というプログラムを実施します。「予習→学び→実践→振り返り」という一連の流れによって、より深い学びを得ることをめざしています。そのため、これまで培ってきたネットワークを生かし、講師の方々と定期的な会議を行い、より一層魅力のある研修を企画・実施するために尽力したいと思えます。



学びを深める参加型研修

キャリアアップ研修受講のイメージ



寄付 ご寄付 ありがとうございました

平成25年5月29日(水)に近畿労働金庫京都地区統括本部様より106,905円のご寄付をいただきました。社会福祉事業のために活用させていただきます。ありがとうございました。



(右)本部長
中川義之様

(左)府社協
宮本常務理事

案内 賛助会員募集

京都府社会福祉協議会

京都府内にお住まいの全ての方が、安心して暮らせる福祉のまちづくりに向けて活動を行っています。そのためにも、教育機関や企業など幅広い団体の協力を募っております。本会の活動を支えるための賛助会員へのご加入をぜひご検討ください。

詳しくは本会までお問い合わせいただくか、本会ホームページ(京都府社協のご案内)をご覧ください。

TEL.075-252-6291

案内 施設整備にかかる融資事業

社会福祉施設の新設・改修等にあたり、「施設整備等融資金貸付事業」を行っています。貸付対象は社会福祉法人です(京都市内除く)。福祉医療機構と併せての借入も可能です。

詳しくは本会までお問い合わせいただくか、本会ホームページ(市町村社協・福祉事業者の方へ)をご覧ください。

TEL.075-252-6291

案内 平成25年度研修センター オリジナル研修のご案内

コーチングスキルアップ研修

●日程

南部1コース：8月26日、27日
南部2コース：9月9日、19日

●申込締切 6月25日

社会福祉士受験対策セミナー 「スタートダッシュ！」

●日程 8月3日(土)

※12月に直前セミナーを開催予定

●申込締切 定員になり次第締切

※受講料は研修により異なります。詳しくは、下記までお問い合わせください。

京都府福祉人材・研修センター研修課

TEL.075-252-6296

本会ホームページ「講座・研修・イベント情報」をご覧ください。

試験 第16回(平成25年度) 京都府介護支援専門員実務 研修受講試験について お知らせ

●試験日時 平成25年10月13日(日)

午前9時30分 説明開始

午前10時～正午 試験

●申込案内の配布

6月12日(水)から7月26日(金)まで

●受付期間

7月12日(金)から7月26日(金)まで

●案内配布場所

市区町村役場(介護保険担当課)、
府広域振興局、保健所等

●問い合わせ先

京都府社会福祉協議会 介護支援専門員実務研修受講試験室

TEL.075-254-3844 (6月12日～12月13日まで開設の専用電話)

案内 平成25年度介護支援専門員 (ケアマネジャー)実務研修 受講試験のための 受験対策講座のご案内

科目別講座

●日程 7月28日、8月4日、8月18日、

8月25日、9月1日、9月8日

(※いずれも日曜日)

●費用 1日につき5,500円

●申込締切 定員になり次第締切

受験対策直前セミナー

●日程 9月27日(金)、10月5日(土)

●費用 1日につき7,000円

●申込締切 定員になり次第締切

詳しくは、下記までお問い合わせくだ

さい。

京都府福祉人材・研修センター研修課

TEL.075-252-6296

本会ホームページ「講座・研修・イベント情報」をご覧ください。

案内 参加者募集！ ひとり親家庭いきいき ふれあい事業(キャンプ)

●日時 平成25年8月3日(土)～ 4日(日)1泊2日

●ところ

男山レクリエーションセンター他
〒614-8006 京都府八幡市八幡大
谷85-21

●交通

指定の場所から現地まで無料バスが出ます。指定のルートからは途中乗車もできます。

●参加できる人

京都府内(京都市を除く)に住む父子家庭の父と子(18歳未満)30組程度

●参加費

大人2,000円/子ども1,000円

●申込み 6月3日(月)～7月8日(月)

所定の申込書をお近くの民生児童委員までご提出ください。申込書については、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

●問い合わせ先

(主催)京都府民生児童委員協議会

TEL.075-256-7083

FAX.075-256-7084

案内 きょうと福祉救済 コーポレートカード

～災害時に福祉施設を支えるために、
新しいCSRの形～

福祉施設や企業活動の経費(光熱水費等)をカード支払いすることで、ポイントを基金(きょうとハート基金)に積み立て、災害時の施設復旧支援の助成金に活用する取り組みです。

詳しくは本会までお問い合わせいただくか、本会ホームページ(きょうと福祉パートナー事業・きょうとハート基金)をご覧ください。

TEL.075-252-6291

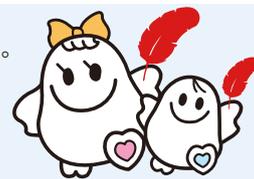
●「京都の福祉」へのご意見、ご感想、とりあげてほしいテーマなどをお寄せください。表紙の写真も募集中です。(テーマ「笑顔」)

●本会へのご意見等は、下記URLの「お問合せフォーム」を通じてお寄せください。

<http://www.kyoshakyo.or.jp>

京都府社協

検索



本紙は、共同募金の配分金によって
つくられています。